

田舎モダン



議会だより



4月8日 自治会対抗ソフトボール大会



明日におかって カッ飛ばせ！



3月定例会議 No.192

平成30年5月1日発行

- ・ 予算審議 過去最大規模でスタート 2～7
- ・ 町政を問う！一般質問に9名が登壇 8～12
- ・ 委員会活動報告 議員研修会 13～15
- ・ ゆめクラブ開成との懇談会開催 16

3月定例会議

人事案件

- 南足柄市山北町開成町一部事務組合議会議員の選挙
・瀬戸 仁司 氏（金井島）
〈全員異議なしで当選〉
- 教育委員会委員の任命
・露木 明美 氏（吉田島）
教育委員会委員のうち一人の任期が平成30年3月31日をもって満了となるため、後任の委員の選任。
〈全員賛成で同意〉
- 人権擁護委員候補者の推薦
・下澤 順子 氏（中之名）
人権擁護委員のうち1名の任期が平成30年6月30日をもって満了となるため、後任の委員の推薦。
〈全員異議なしで議決〉

条例制定等

- 開成町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、開成町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定めることを目的に制定。
〈全員賛成〉
- 開成町営住宅条例の一部改正
地域の自立性及び自主性を高めるための改革を図るために公営住宅法の一部が改正されたため、町営住宅入居者に係る収入申告等についての一部改正。
〈全員賛成〉



河原町町営住宅

平成30年度 主要事業を ピックアップ

拡充



小児医療費助成の対象の拡大

平成30年9月診療分から、小児医療費助成の通院分の助成対象年齢を小学校6年生から中学校3年生までに拡大します。

新規



病児保育事業の開始

病氣中などで集団保育が困難な児童を、仕事などの事業で保護者が家庭で育児できないときに、一時的に預かる「病児保育」事業を広域で取り組み、町内の施設において実施する予定（平成30年10月～）です。

継続



新庁舎建設工事

平成31年度中の竣工を目指して「安全・安心の総合防災拠点」となる新庁舎整備を進めます。
◇町民プール解体工事（～平成30年6月）
◇新庁舎建設工事（平成30年7月～）

拡充



小学校のALT(外国語指導助手)の充実

新学習指導要領（平成32年度から）での小学校3，4年生の外国語活動の導入、小学校5，6年生の外国語教科化を見据え、外国語指導助手の配置の充実を図ります。また、幼稚園・小学校1，2年生にも外国語・外国文化に親しむ機会を設けます。

新規



交流拠点施設の整備

北部地域活性化の拠点施設である「あしがり郷瀬戸屋敷」の拠点機能を強化するため、交流拠点施設の実施設計を行います。あわせて駐車場の拡幅に向け、駐車場用地を確保します。

「未来へ続く懸け橋予算」



平成30年度一般会計予算
過去最大規模でスタート **60億5,800万円**

町長から平成30年度予算の趣旨説明を受けました。予算特別委員会で審議し可決した主な事業は3ページ、質疑の内容は4ページから5ページに掲載しています。

平成30年度会計別予算額

【単位：千円】

会計名		本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計		6,058,000	5,160,000	898,000
特別会計	国民健康保険特別会計	1,673,478	1,799,742	△126,264
	下水道事業特別会計	615,485	594,600	20,885
	介護保険事業特別会計	1,069,564	1,035,196	34,386
	給食事業特別会計	88,880	88,555	325
	後期高齢者医療事業特別会計	210,008	202,324	7,684
水道事業会計		542,085	452,758	89,327
総額		10,257,500	9,333,175	924,325

予算特別 委員会質疑



当初予算は、議長を除く11人で構成する予算特別委員会で集中審議をしました。

特別委員会は、特定の案件を審議あるいは調査するために議会の議決に基づいて設置される委員会です。重要な議案を扱ったり、重要な問題を調査します。

来年度予算のここが聞きたい！！

ふるさと納税 今後の事業展開は

問 寄付額の1億3,000万円の全てが町の収入ではなく、町民税の流出分と委託料等の経費の分を差し引いた金額が、実質、どのくらいが町に入るのか。また、その使い道は。

答 今年度の実質収支は、約7,500万円を見込んでいます。使い道については、一般財源化して、広く使っており、今後は、各市町が実施している事業展開を研究していく。

小児医療費のさらなる 拡充の可能性は

問 小児医療費助成を中学3年生まで拡充するが、所得制限を設けない考えは。

答 町民の全体の所得水準が高い実態もあり、所得に応じた負担をお願いしたいので所得制限を設けている。



自治会役員のなり手 不足支援策は

問 各自治会役員のなり手不足が懸念されている。本町においての自治会は重要な組織であるが、今後、成り立たなくなるのではないかと心配している。町はどのように支援をしていくのか。

答 自治会の役員のなり手不足解消策はなく、自治会の皆さんも悩んでいる。年7回開催している自治会長会議で意見交換をしながら、町としてそれぞれの地域にあった支援策を考えていきたい。



自治会は本町において重要な組織である（町防災訓練より）

コミュニティ施設整備 修繕が必要な時の対応は

問 今年度は中家村公民館の屋根及び外壁塗装工事の予定があるが、毎年1棟ずつだと、全ての自治会を行うには10年以上かかり、速度が遅いと感じる。

答 地域集会施設は順番に工事しており、2カ所以上できれば良いが、予算の状況もある。自治会要望等であるが、その都度対応できるように、順番を変えられる体制にはなっている。

高齢者世帯の見守り 万全の体制が

問 今後、高齢者が急増する中で、自治会に加入している人は福祉部で見守りができるが、自治会に加入していない町民をどう見守っていくのか。

答 高齢世帯が増加する中で高齢世帯の見守りは、民生委員、老人クラブにお願いをしている。緊急通報装置だけでなく、他の方法もあるの、調査研究していきたい。



鷹による追い払いの効果は

問 平成30年度も鷹によるムクドリへの追い払いを行うのか。また、仮にムクドリが戻ってきた場合の対策は。

答 平成29年度は鷹をとばし、ある程度の効果があった。鷹匠と話した中で、しばらくは効果が続くだろう。



鷹による追い払い

待機児童の問題 本町の実態は

問 平成29年度に新しい保育園ができたが、定員をいっぱいにするために町外からも受け入れをした。今年度の募集状況を見ると、満員である。今後は町民が優先して入所することはできないのか。

答 町民でも町外の保育所を希望される実態もある。逆に開成町の保育所に通いたい町外の方もいる。今後は町民を優先するが、申請の段階で町外でも、居住する予定があれば、定住促進の観点からも町内の方と同じ扱いにしている。

指定管理者を導入 2年目の施策は

問 平成29年度から瀬戸屋敷に指定管理者を導入、民間活力を取り入れた中で、どのようにアピールしていくのか。また、南部地区の方が北部に足を運ぶ施策は。

答 昨年10月から瀬戸屋敷にカフェがオープンしたが、景観そのものが古くなっている。今後は指定管理者から指導を受け、町民の意見も取り入れたり、瀬戸屋敷倶楽部との連携を図っていく。南部地区の方に対しての施策はないので、努力していきたい。



新しくオープンしたカフェ

平成30年開成町議会 3 月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議 案 名	審議 結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎
町長	3/7	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なしとして議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町営住宅条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	3/8	開成町介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		開成町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成29年度開成町一般会計補正予算(第7号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成29年度開成町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成29年度開成町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成29年度開成町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	3/16	平成29年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成29年度開成町水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
		平成30年度開成町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町給食事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

平成 30 年度予算特別委員会報告

本特別委員会に付託された7議案について、3月13日、14日及び15日に各議案に対する詳細質疑を行い、3月15日に委員会として採決を行いました。
なお、平成30年度予算の執行及び事業の実施にあたっては、次の事項について、特に留意されるべきであるとの意見が出されましたので報告いたします。

(1) 産業集積促進事業について

南足柄市と策定している「足柄産業集積ビレッジ構想」については、スケジュールを明確に提示されたい。また、南足柄市は北側区域を先行して整備する方針であるが、南足柄市の南側区域及び宮台北地区の事業化実現に向け、両市町の体制強化の充実促進を図りつつ、開成町としての方針を明確にし、今後も随時情報等の報告をされたい。



足柄産業集積ビレッジ構想の事業区域

(2) 水道資材置場新設工事について

新設を予定している水道資材置場の設置場所は、酒匂川水系酒匂川洪水浸水想定区域（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食））内であり、地震災害のみでなく風水害等にも配慮した機能的運用を検討するとともに、事業所等との協定による非常時の対応強化体制を図られたい。あわせて、設置場所周辺は市街化区域内であり住宅地や事業所も立地されていることから、神奈川県に対し浸水想定箇所等、酒匂川右岸の堤防対策強化の要望を促進されたい。



委員長 吉田 敏郎

賛成討論 ～子育て支援のさらなる充実を評価～

第五次開成町総合計画前期基本計画の最終年度となる平成30年度は、初めての試みとなる、枠配分方式を取り入れた予算編成がなされた。
一般会計予算の総額は、60億5,800万円で、前年度に比べプラス17.4%、8億9,800万円の増となり、町は一層の財政運営の安定化を図るとしている。
主な事業内容として、子育て支援については、小児医療費助成の拡大がはかられ、通院費の無料対象が中学3年生までになることとした。また、病児・病後児保育事業のうち、新たに足柄上郡5町の広域的な取り組みで、社会福祉法人に「病児保育事業」を委託することは高く評価する。今後の展開を注視してまいりたい。
また、北部地域活性化の推進としては、都市農業の魅力を発揮する仕組みづくりを進め、さらに、「あしがり郷瀬戸屋敷」は北部

地域の拠点施設であると同時に、町の観光や地域の活力の場として施設整備を図る予算としている。
新庁舎建設は、公共施設としては日本で初めてのZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）とし、国の補助制度を活用した中で、平成31年度中の竣工をめざしているが、併せて来庁者や町民に対してのサービスの向上を目的に、町職員の全員を対象とした接遇研修は、傾聴を重要視し実施することは、庁舎内外に多大な効果がある重要な事柄と考える。
平成30年度当初予算案は、開成町第五次基本計画の前期計画に掲げた施策を推し進め、これまでの取り組みを点検しながら、課題については、原因の究明をし、改善を図り、後期基本計画につなげていくという姿勢があらわれたものであったので、賛成の討論とする。

4 番 前田 せつよ



町政を問う 一般質問

※ 一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

さまざまな災害（地震・水害・噴火等）に対する避難行動の取り決めは万全か

災害対策基本法は、大きな災害に対処するためにその都度改正され、平成25年に大きく改正されている。

問 法律に対する町の見解は。

答 災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本方針としている。

問 酒匂水系酒匂川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）（以下「区域図」という。）から、堤防の決壊を想定した場合の行動計画は。

答 ない。

問 危険箇所に対応できるブロックごとの避難行動計画が必要では。

答 地震と水害とは、避難の行動パターンが変わる。新しい区域図に合わせたものを、今後、避難訓練等、実際に検討・検証する。

問 区域図を配布されて、公の役目（町）として、何をやってきたのか。

答 千年に一度、1日当たり530ミリの大雨が降った場合にはこういった



山田 貴弘 議員



酒匂水系酒匂川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食））

ところが氾濫するという、酒匂川に関する情報が提供。

問 河岸浸食による氾濫や浸水対策として、堤防の強化を目的とした小田原市を終点とした右岸道路の計画要望の提案を。

答 着眼点は大変参考になるが、現状では困難と考える。しかし、近年全国各地で水害が頻発している中、堤防の強化は必要。県においては、河川法に基づき基本方針を定めて整備を進めているが、より高規格で災害に強い堤防の整備・改修を、酒匂川流域の市町と連携を図り、県に要望していきたい。

問 より質の高い住環境を整えるために用途地域を指定している。用途を含めた中で検討の余地がある。まちづくりの方向性は、区域図を示された以上町としても考えなければいけない。

答 国、県の動向を確認しつつ、都市計画としてできることを、研究・検討していく。

地域・学校における心肺蘇生教育などの推進及び危機管理の整備を問う



前田 せつよ 議員

我が国では、平成16年に住民によるAEDの使用が認められて以来、AEDで命が救われた事例が数多く報告されているが、全国では毎年7万人に及ぶ方が心臓突然死で亡くなっている。また、全国小中学校では毎年100名近くの児童・生徒の心肺停止が発生している。

問 先生方のAED使用方法をさらに習熟することも踏まえ、小学校5年生頃から心肺蘇生法の授業を取り入れては。

答 ここで新学習指導要領が小学校、中学校とも変わる。移行期を踏まえて心肺蘇生法も含め、先取りできるものは取り入れるように努力したいと考えている。

問 AEDの設置状況は、開成南小学校・文命中学校は2台設置しているが、開成小学校は、来賓玄閣脇に一台である。来年度から、南棟に学童保育の開設予定だが、現在設置しているAEDは、学童保育の場において使用するの

が難しい場所だと思う。ぜひ、もう一台の設置を。

答 開成小学校に一台は設置している。現在、社会体育として、体育館、グラウンドなど一般開放しているが、こちらについても使用が、しにくいところもある。体育館付近などに付けて、社会体育の方にも使えるよう設置を進めたいと考える。

就学援助の補助金の前倒し支給を

問 文部科学省は、昨年3月に補助金交付要綱の改正を行い、各自自治体は、入学する前の3月以前に支給が可能になった。入学準備ができるように前倒し支給をするべきと考えるが。

答 小学校新入学に対する前倒し支給は、まず年3回支給を平成30年度から年4回に改め、さらに平成31年4月の新入学児童生徒からは、前年度3月の支給となるように改めていきたいと思っている。



文命中学校3年生AED講習

超高齢社会を乗り切るために万全な体制を

開成町の高齢化率は毎年増加しており、平成29年10月1日現在で24.4%と示された。超高齢社会に突入した今、本町が抱える課題への対応は。また、7年後に迎える「2025年問題」に向けた対策は。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けては、社会福祉協議会と連携をとりながら町が方向性をしっかりと示し展開していくのが良いと思うが。

答 全体的な高齢者の福祉施策は町でリードしていかなければいけないが、それを踏まえて、包括支援センターや地域自治体の主体性もあると思うので、その辺は折り合いをつけながら着地点を探していくのだと考えている。

問 ゆめクラブ開成の活動を益々活発にするために、補助金を増やしてほしいという声があるが。

答 ゆめクラブとして地域包括も含めて、新たに何かやりたいという提案があれば、プラスアルファの補助金を考える必要があるが、一律に増やすので



佐々木 昇 議員



答 人材が豊富なシルバー人材センタリーに相談させて頂きながら、開催したいと考えている。

問 平成29年度から、神奈川県で初めて大和市で携行率が高められるとして、靴にGPSを収納するシステムを導入した取り組みを始めたが、本町でも実施しては。

答 大和市の状況を確認して、有効であれば今後、考えていきたい。

働き方改革第2弾「職員が働きがいを持って働ける職場は、町民にとって良い役場である」



吉田 敏郎 議員

開成町が、他自治体のモデルに。
取組み状況は。

問 水曜日はノー残業デーを徹底するとともに18時退庁への取組みを始めています。テレワークは、現時点では必要性は認められないが、将来的な課題として先進事例等の調査研究は続けて参りたい。ペーパーレス化については、タブレット端末等の導入も検討し、新庁舎建設を見据えて具体的な検討を進めていきたい。

問 副町長が全職員と面談、腹を割った話が出来たのか。

答 職務に関する希望、適正、健康状態の3項目で意向調査をし、気持ちに寄り添った形で聞き取りは出来ている。

問 民間企業の幹部を招き、研修を行った。意識改革はされたか。

答 大変刺激になり、課長会議でも働き方の見直しというテーマで議論した。一歩ずつ着実に進んでいる。

問 テレワークについてクラウド化の

考えは。

答 インターネット経由でアクセスすることになり、大変重要な情報が多くある。きっちり検証して、将来的には検討していきたい。

学校にも働き方改革のかぜを。
教職員の長時間勤務是正を

問 長時間労働改善のため、部活動の休養日設定の提言がされた。本町では

答 水曜日は16時半まで、ローテーションをしながら土・日のどちらかの練習をやめることについて職員会議で検討している。

問 先生の勤務体系を分かってもらうよう周知を。

答 PTAの総会、学級懇談会等で学校の実態を理解していただく配慮は以前より増している。

問 教員免許は持っているが、県の採用試験に受かっていない人を常勤として受け入れることは。

答 義務教育国庫負担法の制約があり、町が独自でというのは難しい。皆さんご理解があれば、やれる範囲でやっていきたいと思う。



マイナンバーカードの普及策を問う

国はマイナンバー制度の意義を強調するも、交付率は全国で10.2%に止まっており普及が進んでいない。

問 マイナンバーカードを活用して、住民票等のコンビニ交付を行う住民サービスの導入を国は全国の自治体に求めているが、我が町の検討状況は。

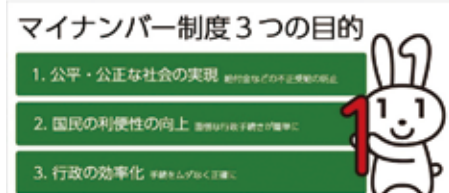
答 県内14町村（開成町含む）で構成している県町村情報共同システム事業組合の枠組みにおいて、カードの利活用の一つとして住民票や各種税証明書が取得できるコンビニ交付の導入について、検討を進めることを確認している。開成町のコンビニ交付の導入時期については、平成31年度となるべく早い時期に導入を完了する方向で検討を進めていきたい。

問 保育や児童手当等の子育て関連の行政手続について、マイナンバーカードを使えば添付書類が不要となる子育てワンストップサービスを既に国は提供しているが、我が町の対応状況は。

答 平成30年7月の基幹系システムの



石田 史 議員



更新にあわせて子育てワンストップサービスの電子申請対応の改修を行う予定であり、平成30年度予算に計上している。導入完了の目途が立った際には、町民に向けて十分にPRをしていきたい。

問 宮崎県都市部のようにマイナンバーカードを活用した地域の消費拡大サイクルを構築している自治体もあり、マイナンバー制度をうまく活用して開成町の地域の発展につなげていく施策が必要と考えるが。

答 全国で市町村が実証実験という形で、例えば川崎市では3月末から商店街と連携して実験を行う情報を得ている。実験の結果等を情報収集し、開成町の活性化につながる施策として取り込めるのであれば検討していきたい。

小田急小田原線新松田7号踏切拡幅及び周辺道路歩道整備を



湯川 洋治 議員

小田急小田原線新松田7号踏切（以下「踏切」という。）は歩道が整備されていないため、道路と線路が交差する踏切は電車・自動車・歩行者が通行する極めて危険な場所である。安全対策が必要となることから、歩道を整備し踏切拡張を小田急電鉄に働きかけるべきと考える。

問 足柄紫水大橋完成後、交通量が増えているが見解は。

答 踏切の交通量は、開通前と後では開通後、自動車が16%減少・歩行者等が14%減少であった。また、平成30年2月14日の朝・昼・夕方の方のピーク時調査では、開通後の調査と同程度の交通量だった。

問 町道235号線は、開成町を東西に横断する重要な路線である。この路線上にある踏切道はこの地域の生活道路となっており通勤通学路でもある。特に歩行者・子ども・ベビーカーを押しているお母さん・高齢者・障がい者

には安全対策が必要と考えるが。

答 踏切周辺で行っている安全対策として、近隣の企業に対し大型トラックは、下島交差点から酒匂川方向に通行する場合、踏切を右折せずに直進方向に進んで、大回りをして企業の敷地に進入するよう要請をしている。また、警察との連携も出てくると思われるので、安全な運行をするような形でのパトロールの強化などを要請していきたい。

問 平成18年ごろ踏切については、道路構造令に基づき、改良計画を検討したとのことだが。

答 踏切については、一時、歩道をつける計画を検討した。その後の交通状況等を勘案し大きな変化が見られなと判断。本来の土地区画整理事業区域内の道路整備、踏切道の整備となるため、事業と合わせた中で検討していきたい。



小田急小田原線新松田7号踏切

開成町の教育改革を問う

平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受けて、首長と教育委員会の関係や教育委員会と議会の関係も新しい視点で見直しが求められている。

問 平成27年から2年間の総合教育会議の経過と成果は。

答 平成27年度に3回、28年度に2回開催し、28年2月に町教育大綱を策定した。町総合教育会議設置により、首長が教育行政に果たす責任や役割が明確となり、町の教育行政の方向性を共有できる。

問 新しい教育委員会制度下での教育委員会会議は。

答 27年10月から新制度に移行し、新教育長は町長が議会の同意を得て任命し任期は3年である。教育委員会は教育長が司る。教育委員の任期も教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保する観点から、一度に交代とならないよう任命される。教員経験者2名、保護者代表1名、企業出身者1名の構成



井上 三史 議員



で男女2名ずつバランスの良いものとなっている。教育委員会議会は公開を原則としている。

問 開成町は教育のまちと聞くがその特徴は。

答 町立の園・学校全てコミュニティ・スクール、学校運営協議会制度を取り入れ町民の意見が経営に反映できるシステムをつくりあげてきた。

平成28年度から土曜学校あじさい塾では、学校で学べない体験など開催し、北海道幕別町との青少年交流事業など町長の目指す教育の町かいせいの未来像の実現に向け取り組んでいる。

幼稚園で「のびのび子育てルーム」は平成11年より実施し、保護者の様々な課題解決や子育ての悩み、子どもの成長の比較など、自信をもって子どもの育成につとめられる環境づくりを整えてきたことも本町の教育の特色である。

通学路の選定等について

1. 調査の目的

開成町の通学路は、平成29年4月に一部見直しが行われたが、本委員会ではその選定について、町民からも疑問視する声がある状況を踏まえ取り上げたいという意見が出された。また、通学路選定は、6月の日曜議会の質問での町の答弁は、「通学路は様々な精査によって、より安全なところを選定されている」とのことであった。

その後の本委員会で、「町内で三番目に交通量が多い開成駅南側の交差点を二度渡ることは最善の策なのか。」との意見も出された。通学路については、交通安全・防犯の視点から現状を把握するため、現地視察を踏まえて、現状での課題の整理を行い、改善策や選定等についての検討をするため、調査研究を行うこととした。



通学路の危険箇所を現地視察

2. 現状把握

通学路の状況を把握するため、通学路図を基に各委員から出された危険箇所と思われる場所等の現地視察を行った。さらに登下校の時間帯に合わせた現地視察も行い、その際、児童・生徒・保護者・安全指導に関わる方や、近隣町民にも聞き取りを行った。また、平成28年中の町内自転車事故発生場所10カ所の現地視察を行い、平成28・29年度開成町不審者等の緊急事案発生児童・生徒に関わる15件の事案についても発生場所の確認及び視察を行った。

通学路における危険箇所と思われる場所では、町道に向かう抜け道であること、急カーブのために見通しがきかないこと、また、町の開発事業に伴い、交通量及び人口の増加もあり、交差点で児童が滞留してしまう状況が生じることなどの要因が認められた。

防犯カメラについて、町内の設置場所の把握を行ったところ、情報の扱いも含めて今後の運用管理などが不十分ではないかとの意見が出たが、町は防犯カメラのガイドラインを検討しているとのことであるので、注視していく。

なお、通学路に伴う安全策として、交通量の増加が著しい開成中央通りの牛島自治会館前交差点に新たな信号機が設置されて、平成30年1月に供用開始に至ったことは評価したい。

～検討結果のまとめ～

- 交通手段として自転車を利用する者に対しては、児童・生徒の登下校時には、特に減速を意識した運転を心がけるよう啓発に力を入れるべきである。
- 不審者等の発生については、情報を迅速に提供することが必要であるため、他の情報提供も併せて、SNSを活用したメール配信などの周知及び利用促進を図るべきである。

- 通学路の選定については、日常的に通学路に立ち、安全指導に携わっている方々及び児童・生徒の意見を十分に吸い上げ、参考にすることが重要であると考え。通学路の変更の決定がなされた場合は、速やかに通学路の見守り活動に関わっている関係各位に周知徹底することが必要である。

町に提言！

- 町内で三番目に交通量が多い開成駅南側の交差点を二度渡ることは、児童を含む歩行者の滞留が非常に多く、危険と思われるので、児童の安全確保のため見直し、検討をされたい。
- 交通事故及び不審者の発生場所など危険箇所には、地域住民からの情報提供も併せて検討し、注意喚起の看板等設置の増設をされたい。

委員長 前田せつよ

広域連携の調査研究の現状及び今後の方針について問う



和田 繁雄 議員

足柄上郡5町の将来像について、今年度末を目途にまとめる。

連携して取り組む事業について、11分野のワーキンググループを設置し、協議を進めている。

問 南足柄市の対応によって今までの取り組みは影響を受けるのか。

答 2市協議が白紙となった際の対応においても、「あしがら地域創生連携推進会議」において方向性を確認したことと5町に大きな影響は生じていない。

問 今後の小田原市との関係は。

答 中心的な役割を担う小田原市と周辺市町において、今後も公正な信頼関係に基づき、より継続的で、かつ安定的な広域連携体制の構築に努めていく。

問 中間取りまとめは、昨年の3月に示されたが、1年経過後が入らなかった。

答 報告できる形が整ったところで、きめ細かい報告なりというものを対応していきたい。



行政改善について問う



菊川 敬人 議員

新たな省エネ基準へ適合する義務付けがされ、基準適合化を求めている。また、新庁舎建設に伴い、業務改善、改革が望まれ資料のデータ化は必須となる。

問 開成町新エネルギー計画では、エネルギー負荷をどれくらい軽減できるか不明である。エネルギーの削減は、CO₂電気をどれくらい削減していく予定か。それによって、環境負荷をどの程度削減する考えか。

答 東電以外で電力が売れるようになり、個々の数値的なものは把握できていない。どれくらい全体で減らすか計画は立てていない。

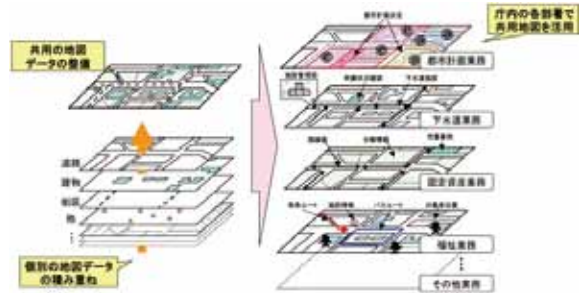
問 新庁舎の建設までにペーパーを少しでも減らそうということで、竣工までに60%の削減をしたいということだが、ペーパーからデジタル化にしてみたい。また、ファイリングシステムとはどういうものか。

答 ファイリングシステムは、ファイリング形式に改めてスペースの省略をする

とか、また検索を簡易にするものである。これができていなければ、電子化も将来のデータ化というのもし難しい。

問 統合型のGISにすることで、道路や建物、河川、その他複数の情報が一つのプラットフォームにおける。3次元的な管理が可能となる。ワンストップサービスを実現する強力なツールとなると考える。平成31・32年度の予算化に向けて検討されていると思うが、もう少し前倒しすることは可能か。

答 平成30年度に予算計上しているが、固定資産データのデジタル化や、今後どういう業務を交えた中でどのようなGISを構築していくかワーキンググループを立ち上げ検討を進め、平成31・32年度で基本的なGISの構築をしていくのが最短である。





充実した研修となりました

～質問力を政策議会の資源に～
議員研修会
 平成30年2月14日に大井町生涯学習センターで議員研修会が開催されました。
 当日は、龍谷大学政策学部教授の土山希枝氏から『質問力でつくる「政策議会」』をテーマに、いい「一般質問」とはどんな質問か、「政策議会」を考えるなどの講演を傾聴しました。最後に質問・コメント用紙を記入し、その内容の一つひとつに丁寧に答えをいただきました。

議会の動き

2月

- 13日 ●議会改革検討委員会
- 教育民生常任委員会
- 14日 ●総務経済常任委員会
- 足柄上郡議長会研修会
- 20日 ●全員協議会
- 26日 ●議会運営委員会

3月

- 6日 ●3月定例会議（～16日）
- 16日 ●議会運営委員会
- 19日 ●新庁舎に関する調査特別委員会
- 23日 ●全員協議会
- 27日 ●足柄上衛生組合議会定例会
- 28日 ●足柄西部清掃組合議会定例会
- 29日 ●総務経済常任委員会

4月

- 9日 ●広報分科会
- 12日 ●新庁舎に関する調査特別委員会
- 広報分科会
- 議会運営委員会
- 20日 ●全員協議会
- 総務経済常任委員会
- 24日 ●議会運営委員会
- 4月随時会議
- 教育民生常任委員会

みほん

（縦4.5cm、横9cm）

裏表紙に掲載させていただきます！

議会だよりに掲載する広告を募集しています！

開成町議会では、町民サービスの向上と民間企業等との協働による地域の活性化を目指すことを目的に、議会だよりに掲載する有料広告を募集しています。有料広告に関する掲載基準や申込書などは、議会ホームページに掲載しています。（1枠につき1回5,000円※減免規定あり）

議会を傍聴しよう！

次回、6月22日（金）開催予定 6月定例会議

今年の日曜議会は6月24日開催です

傍聴の際は、住所、氏名、年齢（○歳代）を記入していただきます。審議日程等は議会のホームページに掲載いたします。分からないことがありましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください（84-0323）。

現在調査中！ 委員会レポート



総務経済常任委員会

～所管事務調査項目～
 町営住宅の運用について



委員長 佐々木 昇



四ツ角団地は用途廃止方針が示され、町営住宅は2団地に統合された

総務経済常任委員会では、平成29年度第1回議会報告会・意見交換会において町営住宅の運用について、意見を受けました。居住者が本来の町営住宅の目的に適合したものかどうか、入居希望者への対応に課題はないか、2団地に統合された町営住宅の運用について調査研究をし、今後の運用について提言できるようにまとめていきます。

新庁舎に関する調査特別委員会

～委員会開催状況～



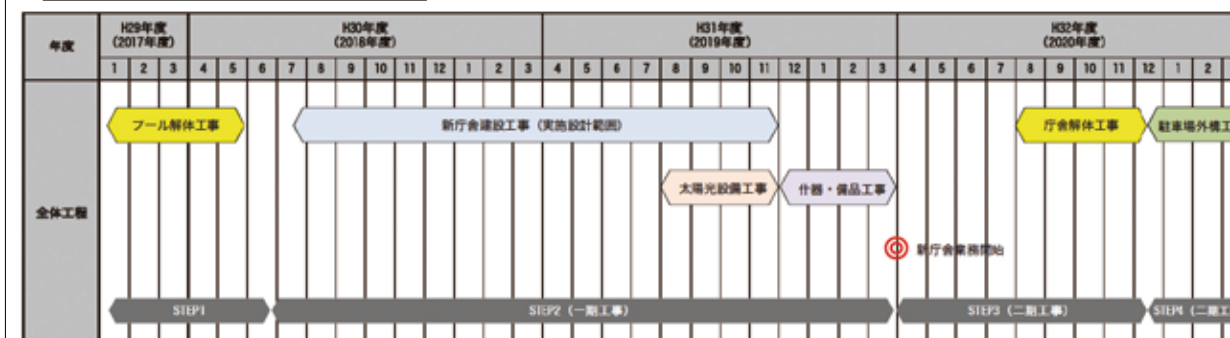
委員長 吉田 敏郎

議会では、町が進める新庁舎建設の計画について、全町的な視野に立つて議論を重ね、継続的に調査研究を図るため、全議員（議長を除く）で構成する「新庁舎に関する調査特別委員会」を設置し、調査活動を行っております。
 第19回目の特別委員会では、担当課から実施設計の概要、新庁舎建設工事設計金額、スケジュールについて説明を受け、その説明に対する質疑を行いました。また、議場に導入するシステムについては引き続き議論を行い、町民の皆さまがより傍聴しやすいような議場を目指しております。
 ※議会のホームページに会議録を掲載しております。

工事設計金額について

- ・直接工事費（建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備、外構工事）
 - ・共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）
- 上記の総合計 25億2,180万円

新庁舎建設のスケジュール



各種団体の皆さん 議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

議会と懇談会を希望される団体を随時募集しております！



活発な意見交換が行われました

開成町議会では開かれた議会を目指した取り組みとして「各種団体との懇談会」を実施しており、平成30年1月26日にゆめクラブ開成との懇談会を行いました。当日は、ゆめクラブ開成の現状について概要説明があり、その後の意見交換会では、会員減少や役員のなり手不足などの課題をあげていただき、意見・情報交換を行いました。

ゆめクラブ開成 との懇談会

編集後記



平成30年度予算の審議が行われ、全会計で102億円の大型予算となった。全国的には少子高齢化による人口減少が進む中、本町では増加が続いている。しかし、国からの交付金は町税増収に伴い減少傾向にあるため、予算特別委員会では歳入歳出の詳細については真剣な議論が交わされた。平成30年度予算の最大事業は新庁舎建設であり、町債による町政運営に影響を及ぼさないかの確認がされた。平成30年度、新たな計画として北部の活性化の拠点施設の整備や第五次開成町総合計画の後期基本計画が策定されるなど、新たな開成町のスタートが感じ取れる。

(菊川)

委員長 井上三史
副委員長 下山千津子
委員 佐々木昇
山田貴弘
菊川敬人
星野洋一

広告

部員募集!!

バスケットボールクラブ女子

代表 奥津 E-mail: oku0510@jcom.vt.ne.jp

One for All, All for One

広告

開成町 魚常 惣菜ユキコ

4月より開成水辺公園管理棟にてお弁当を販売しております。開成町の米(キヌヒカリ)や野菜・足柄牛・魚は相模湾や近海物を使って、安くて美味しいお弁当を作っています。どうぞ、よろしく願います。

営業時間 11時～13時半
定休日 木曜日
※ 荒天時は水辺公園に合わせ営業いたします

電話 82-8230
携帯 080-6255-1192